

# 経済活性化で日本を良くする

当社は濃とした人づくりを通して日本を良くすることを使命としています。政治、経済、安全保障、教育、医療、食糧、ハイテクノロジ、サイバーなど多くの分野からのアプローチが必要で、国が良くなると、自殺者は減り、笑顔が溢れます。今回は国を良くするための一つ「経済」にスポットを当ててみます。

**景** 気が良いというのは経済活動が活気に満ち溢れているということです。

個人であればお金を稼いで、お金を使わずに貯め続けられればお金持ちになれますが、国全体から見ると稼いで使わなかったら景気は良くなりません。起業家が増えてビジネスを推し進めることや、企業が積極的に投資をおこなうことで、経済活動が活発になることが望ましい経済の循環です。稼いで使うことで国の経済は良くなるのです。

ビジネスにおいては、ニーズを作り出せると強いです。私たちは地球上にある資源を活用してきました。穴を掘って水が出てきたら天然水、温泉が出てきたら温泉宿を構え、ガスが出てきたら天然ガス。自然にあるものを仕入れて、それを加工して、お金に変えてきたわけです。先日、降り積もった雪を利用したユニークなビジネスを知りました。青森のおばさまが、約30センチの雪だるまを作って、クール宅急便でお送りするので、冷凍庫を契約することで、1年中、日本全国どこにでも送れます。雪だるまが届いた子どもたちは大喜び。この

映像を見たときに、天然資源を使った大きなビジネスを狙わなくても、人が喜ぶビジネスはアイデアひとつで生まれると思います。大雪で困っているニュースばかり流れている中で、ほっこりする映像でした。

## 話

は変わって農業です。ロシアとウクライナの戦争の影響による貿易の制限で、食料の安定的な輸入が難しくなっています。また、日本では化学肥料は100%輸入に頼っているため、化学肥料の高騰も農家を苦しめています。そこで食料安全保障の観点も含め、各自自治体は民間企業やJAと共に、肥料の原料となるリンを下水から回収する取り組みを進めています。

イチヨウの町・八王子では、秋になるとイチヨウが道路をキレイに彩ります。そこで、イチヨウの落ち葉を利用したSDGs商品で、東京八王子ビートレインズの運営会社であるTHTMマネジメントが考案しました。エスフォルタアリーナ周辺で集めたイチヨウの葉から染液を抽出した「八王子のイチヨウで染めたタオルハンカチ」を道

の駅で販売しています。高齢者が山の中からもみじの葉を拾い、高級料亭に送るといふビジネスもあるなど、自然や処理するものから多くのビジネスが生み出されています。ビジネスにおいて打つ手は無限です。

昨今、起業といえばAIが人気ですが、世の中はAIの事業だけでは成り立ちません。日本では事業承継が難しい会社が120万社あり、そのうちの60万社は黒字経営をしているそうです。今までも必要とされ、これからも必要とされる事業はたくさんあるのです。今まであったビジネスにちよつとひと手間加えただけで、新しい事業になることもあります。

誰かの喜ぶ顔を見るため、社会課題の解決のため。起業も素晴らしいですが、社内の新規事業開発も良いと思います。大企業でも新規事業を提案できる人材を求めていると聞きました。柔軟な発想でビジネスを生み出し、自分が国のために経済を回す一端となり、経済の活性化で日本を良くするということも、くにまもりの一つの選択として考えてみてください。



(株)キャリアコンサルティング 代表取締役社長 室館 勲  
MURODATE Isao

2003年株式会社キャリアコンサルティングを設立。プータン王国立マネジメント大学など講演実績多数。全国社内木鶏経営者会 副会長。ミス・ワールド・ジャパン 講師・審査員。著書に「夢を見て夢を叶えて 夢になる」(致知出版社)、「まずは上司を勝たせなさい」(講談社)、「応援される人」になりなさい」(ワック)がある。